

明治ホールディングス株式会社

2025年12月17日

報道関係者各位

「明治グループ自然保全区 まほろばテラス」が 「自然共生サイト」に認定

明治ホールディングス株式会社(代表取締役社長 CEO:松田 克也)は、事業子会社の Meiji Seika ファルマ株式会社(代表取締役社長:永里 敏秋)が所有する足柄研究所「明治グループ自然保全区 まほろばテラス」が、地域生物多様性増進法に基づく環境省の「自然共生サイト」^{※1}に新たに認定されましたのでお知らせします。

明治グループは2022年4月より、環境省が掲げている生物多様性に関する目標「30by30(サーティ・バイ・サーティ)」^{※2}の達成を目指す有志連合「生物多様性のための30by30アライアンス」に参画し、2023年10月に自然共生サイトに認定された「くまもと こもれびの森[®]」などの生物多様性の保全活動に取り組んできました。



「まほろばテラス」は、酒匂川に隣接し、周辺に水田や畑が広がる緑と水資源ともに豊かな地域にある足柄研究所の敷地内にあります。豊かな自然環境を活かし2,600m²に1/3が池、2/3が陸地からなるビオトープを整備しました。今後、在来種や希少種・減少種の保護や外来生物の計画的な防除などを通じて地域の生態系へ貢献するとともに、県や市の生物多様性保全の取り組みとも連携し、小学生・中学生の自然環境学習や地域住民とのコミュニケーションの場を提供していく予定です。

明治グループの事業は、生乳やカカオ、乳酸菌、抗生物質に代表される微生物など、豊かな自然の恵みの上に成り立っています。持続可能な社会を未来につなぐためには、自然環境保全のための活動は私たちが果たすべき社会的責任であるとの認識に基づき、「ネイチャーポジティブ」^{※3}を宣言しています。明治グループは、今後も自然との共生を目指し、事業活動ならびに生産拠点や所有する企業緑地、その他協定地において、生物多様性の保全活動に積極的に取り組んでいきます。

※1 「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を環境省が認定する区域

※2 2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標

※3 「自然再興」、自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させること

■ 「まほろばテラス」の概要

- ・立地：神奈川県小田原市栢山 788 Meiji Seika ファルマ（株）足柄研究所敷地内
- ・面積：2,600 m²
- ・概要：まほろばテラスは神奈川県小田原市北部、酒匂川の沖積低地に位置し、環境省が指定する「小田原市東栢山里地里山等保全地区」、かながわ探鳥地50選「栢山」に隣接する緑や水資源ともに豊かな地域にあります。敷地内の緑地ではヤマシギ、キジ、カワセミ、ハグロトンボなど、希少種を含む多様な生き物が確認されています。



【参考情報】

- ・明治グループ 生物多様性に関する取り組み
<https://www.meiji.com/sustainability/harmony/biodiversity/>
- ・明治グループ 生物多様性保全活動ポリシー
https://www.meiji.com/pdf/sustainability/harmony/biodiversity-biodiversity_conservation_activity_policy.pdf
- ・明治グループ 長期環境ビジョン
<https://www.meiji.com/sustainability/harmony/management/#content-1>
- ・環境省 自然共生サイト
<https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/kyousei/>

以上

MOOOOOORE SUSTAINABILITY は
人・社会・地球の健康の実現に向けた
明治グループのサステナビリティ活動
精神を表しています。

サステナビリティページはこちら ↓
<https://www.meiji.com/sustainability/>

**MOOOOOORE
SUSTAINABILITY**